

愛媛大学 様

教育現場では最適なPC環境を提供し、さらに学生の見る目を育てたい。

愛媛大学では16のパソコン教室が用意され、FlexScan L578が747台、L997が100台使用されている。情報教育という立場から、最適なPC環境の提供と学生の見る目を育てることに取り組んでいらっしゃる、愛媛大学助教授 川原氏にお話をお伺いした。



モニターとキーボードは重要なインターフェイス

川原氏は、情報システムを構築する際モニターとキーボードは特に重要であり、『一流品』を使うべきであるとお話された。それは、人間が直接接するインターフェイスだからだ。モニターについて言えば、時には長時間に及ぶパソコン作業において見つめ続けるものであり、表示性能が低いと作業の質が落ち、さらに学生の目や身体に負担がかかってしまう。今回これまでのブラウン管モニターから液晶モニターへ切り替える際も、モニターの表示性能について妥協できなかったという。

ブラウン管からの置き換えに動画表示に最適な液晶モニター FlexScan L578を導入

大学の授業では、ビデオファイルやストリーミング配信による動画コンテンツを含む教材を使用している。学生の興味を引きやすく、理解を深めてもらいやすいからだ。川原氏は、ブラウン管モニターから液晶モニターに切り替える際、液晶モニターの動画コンテンツの表示性能について懸念していた。一般的な液晶モニターは動画表示に弱く、どうしても画像がぶれて表示されがちなため、液晶モニターであっても動画表示に対応できるレベルの仕様を要求されたとのこと。

そして同大学では、オーバードライブ回路を搭載し、動画の残像感を低減したFlexScan L578(上記写真)をご使用いただいている。



愛媛大学 助教授
総合情報メディアセンター 学術情報システム部門
川原氏

『一流品』を使わせることで
学生の見る目を育てる

川原氏は、先の動画表示に優れた FlexScan L578や、プロデザイナーの実用にも耐えうるL997を含むEIZOモニターについて、とにかく画像が美しい『一流品』であると評価された。そして学生に『一流品』を使わせる必要性について、「普段から美味しいものを食べて肥えた舌を持っていないと、美味しいものとまずいものの区別がつかないように、モニターやキーボードも学生の頃から『一流品』を使っていないと、良いものと悪いものがわからない。情報教育という立場から、学生に『一流品』を使える環境を提供することで、良いものと悪いものを識別する目を育ててやりたい。」とお話された。実際に、アナログ接続のモニターを使用してきた学生は、デジタル接続のEIZO液晶モニターを使って初めて、これまで不便を感じずに使っていたモニター表示での文字や線の輪郭がいかにもぼやけていたかということに気づき、非常に驚いたそうである。



同大学に導入されているキーボード
小指は35g、薬指は40g、その他の指は45gと打つのに必要な荷重を変えてあり、静電容量の無接点方式を採用したものであるため、ミスタッチがないなど、キーボードの『一流品』である。

長期間使用しても
価値の高い製品であること

川原氏は、大学でのPC機器選定時に重視されることについて、次のように話された。「大学ではおよそ5年間、同じパソコンやモニターを使用する。そのため、導入時は高スペックだったパソコン機器も、リース期間終了の頃には使い物にならないものになりがちである。その点、5年前から使用しているEIZOの液晶モニターは、今でも仕様がそれほど陳腐化しておらず、画質の劣化も少なく、十分価値がある。パソコン機器導入時に際しては、約5年後に陳腐化してしまわない仕様にするのが重要である。」EIZO製品は、表示技術やユーザーの使いやすさにおいて、常に最先端を目指して開発されている。また、EIZOの液晶モニターは、長期間使用しても安定した表示状態を保ち続ける、バックライトセンサーによる調光機能 (EIZO独自の特許技術) を搭載している。同大学では実際にご使用になって、これらの性能の高さを実感していただいている。

使用時に不快感や不便を感じさせない
最適なPCネットワーク環境作りが目標

川原氏は、パソコンシステムの再構築にあたり、使用している先生や学生に『何も感じさせない』ことを目標とされている。「たとえば、現在ネットワークの切り替えやセキュリティ強化を順次行っておりますが、私が内部のネットワーク切り替えを行っても、使用している先生や学生は一体いつそれが行われたのか全く気づきません。『何も感じさせない』ということは、要は使用者がそれだけ不便やストレスを全く感じない、快適な環境にしてあげること。モニターに関して言うと、『何も感じさせない』ということは、色再現性が正確で画像が美しく、色ムラがなく長時間見ている疲れのないものを指しま

す。ですが、これはどれだけ言葉で教えても見せたとしても、簡単にわかるものではない。実際に長期間使用してみて、初めて気づくものです。」

情報教育を、言葉だけで教えるのではなく、最高のPCネットワーク環境を実際に体験させることで学生自ら学んでいってほしいとの強い思いから、日々最高の学ぶ環境づくりに取り組んでいらっしゃる。



モニターの電源をつけると、愛媛大学のロゴマークが表示される。

愛媛大学


昭和24年に新制国立大学として発足した、学生約1万人の四国最大の総合大学。学生参加型の大学づくりや地域社会と連携した活動、世界に羽ばたく人材育成のための、外国人教員による少人数クラスでのコミュニケーション英語教育、「21世紀COEプログラム」に選定された沿岸環境科学研究センターを始めとした世界に誇る先進的な研究等に取り組み、「地域にあって輝く大学」を目指している。



製品に関する情報についてはEIZOホームページで

<http://www.eizo.co.jp>

■製品に関するお問い合わせは 受付時間 月～金 9:30～18:00 (祝祭日、弊社休業日を除く)

EIZOコンタクトセンター  0120-956-812